

新規事業採択時評価結果（令和3年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
当該区間の整備により、頻発化する豪雨災害等による道路寸断に対し信頼性の高い道路ネットワークが確保されるほか、救急医療活動の支援や地域産業である水産業の生産拡大を支援することを目的とする。		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<p>国道 106 号は、宮古市と盛岡市を最短で結ぶ幹線道路であるが、急峻な地形や道路寸断の恐れがある危険箇所（河川と並行する区間）が多数存在し、災害が発生するリスクが高い。</p> <p>平成 28 年 8 月台風 10 号では、道路被災や法面崩落などに伴い最長 1 1 日間の全面通行止めが発生し、当該区間には代替路がないため距離や時間が通常に比べ約 2 倍の広域迂回が発生。</p>	<p>※東北圏広域地方計画（H28.3）</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害リスク低減のためにハード対策として、緊急輸送道路の強化、格子状骨格道路ネットワーク整備等を推進。 災害に強い圏土を形成するためには、東北圏全体の交通ネットワークを考慮した代替性・多重性の確保を図ることが重要であり、縦軸ラインと横軸ライン双方が確保された格子状骨格道路ネットワークの着実な整備が必要。 <p>※いわて県民計画（H31.3）</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害時などの確実な緊急輸送や代替機能を確保した信頼性の高い道路ネットワークの構築を推進。
住民生活	<p>宮古地域には三次救急医療施設がないため、脳梗塞などの重篤患者は約 100km 離れた盛岡市の三次救急医療施設へ約 2 時間をかけて搬送しており、搬送時間短縮によるアクセス性の確保が課題となっている。</p>	<p>※東北圏広域地方計画（H28.3）</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者を医療施設へ搬送するための速達性のある確実な道路ネットワークや救急車退出路等、命を守る道路の整備を促進する。 <p>※宮古市都市マスタープラン（H30.9）</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域産業の振興、防災や救急医療への対応の観点で重要な道路は、時間短縮、渋滞緩和、交通の安全確保のため、整備促進に取り組む。
地域経済・地域社会等	<p>宮古市はサケ類の漁獲量、タラの水揚量が共に東北第 1 位であるが、主な輸送ルートである国道 106 号は急峻な山地部を通るため、輸送時間の速達性・安定性の確保が課題となっている。</p> <p>特に出荷のピークを迎える冬期が顕著。</p>	<p>※いわて県民計画（H31.3）</p> <ul style="list-style-type: none"> 県産農林水産物は、販売店や飲食店等と連携した販売促進活動や、復興道路等を活用した高鮮度輸送体制の整備を積極的に進めていく必要があります。 水産業を再生するため、新たな交通ネットワークを生かしながら、流通、加工体制の構築を推進。
その他		

事業の有効性									
<ul style="list-style-type: none"> 当該区間の整備により、主要拠点間のリンクの評価が D ランクから C ランクに改善するとともに、不通リンクの解消によりネットワーク全体の防災機能が強化される。 また、災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保、救急医療活動の支援や水産業の生産性拡大の支援等、有効性の高い事業と評価する。 									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	宮古市	盛岡市	10 (5)	1.00 [D]	0.91 [C]	▲164.3 (▲30.2)	0.18 (0.05)	0.10 (0.00)	◎
			(1.00) [D]	(1.00) [D]					

事業の効率性	
・岩手県によるルート帯決定（R 1. 8）	

※道路ネットワークの防災機能の上段の値は宮古～盛岡を対象とした場合、下段（ ）書きの値は事業化区間を対象にした場合の防災機能評価結果。